

KagoGIGA インフォメーション

①

鹿児島県教育庁義務教育課
令和3年4月

いよいよ始動するGIGAスクール構想による1人1台コンピュータ端末等を活用した授業!!
「どんな場面で使えるのだろうか?」、「どんな使い方ができるだろうか?」と悩むところも多いでしょうが、まずは「やってみよう!!」の勢いも大切!! みんなで取り組んで、「〇〇やってみた。」の情報をたくさん発信・交流していきましょう。

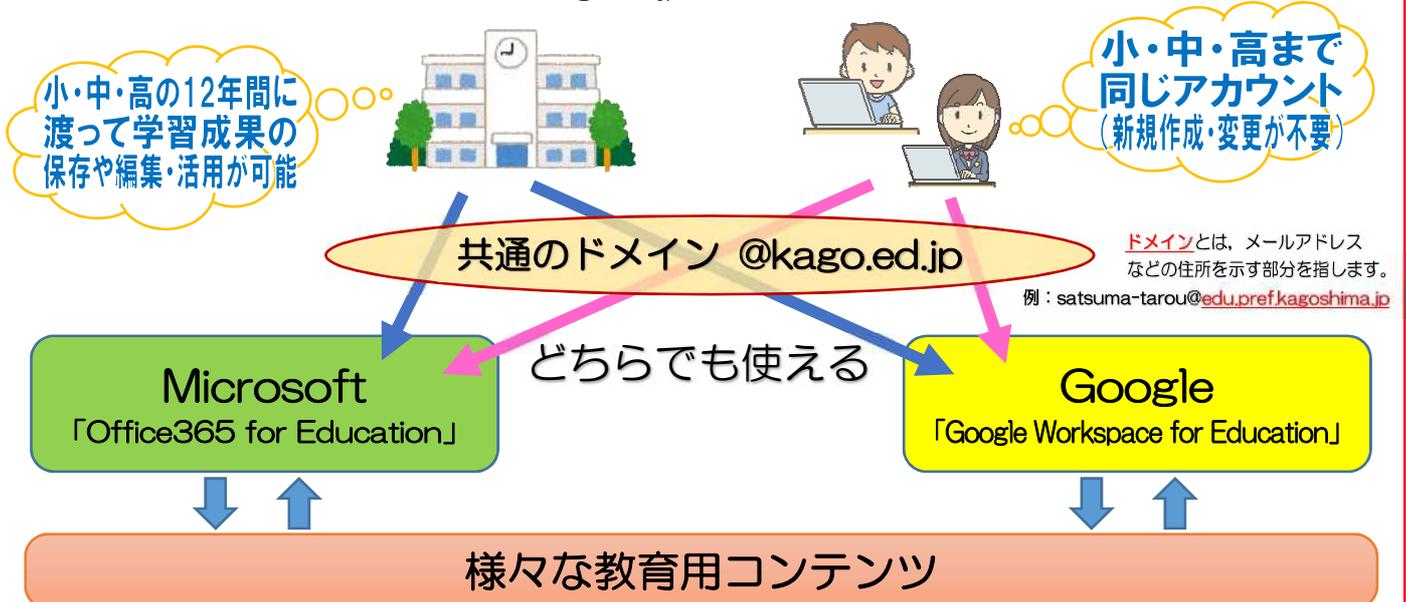
この「KagoGIGA インフォメーション」も、GIGAスクール構想の推進に関わる様々な情報を、発信していくものにしたいと思います。

今回の話題 県域教育用ドメイン

国の「GIGAスクール構想」においては、クラウド（インターネット）を使ったサービスを活用することを前提としています。クラウドを児童生徒及び教員が利用するためには、一人一人が「アカウント（ID）」をもつ必要があり、そのために、各市町村において教育用ドメインを取得する必要がありました。

しかし、各市町村で独自に教育用ドメインを取得した場合、児童生徒が他の市町村の学校に転校や進学したときに、アカウントを設定し直さなければならなかったり、それまでの学習ログを使えなくなってしまうといったことが考えられました。

そこで鹿児島県教育委員会では、「GIGAスクール構想」において整備された端末での利用が想定される「Office365 for Education」を提供する日本Microsoft社と、「Google Workspace for Education」を提供するGoogle社の両社に協力をいただき、県内の公立小・中・義務教育学校、特別支援学校、高等学校の児童生徒及び教員が、県内の公立学校に在籍する間は、どこに転校しても、どこに異動しても変わらずに使用することのできる県域教育用ドメイン（@kago.ed.jp）を準備しました。



次のような取組が期待されます。

- 児童生徒の端末への授業の資料配布、課題の配布・回収等
- 個々の学習状況に応じた個別に最適化された課題への取組
- 学習の成果物等の保存や編集・活用（いつでも・どこでも閲覧可能）
- 安全な環境でのオンライン学習の実現（Web会議、遠隔でのテストや課題の配布・自動採点）
- 教師は児童生徒の学習状況をリアルタイムで把握・確認
- 学級全体又はグループごとのファイル作成・同時編集などの協働学習の実現
- どの端末を使っても、自身のファイルにアクセス可能（使用する端末を固定しなくてもよい）等